2025年 プログラム近況報告
エクアドル　コルタ地域開発プログラム
温かいご支援をありがとうございます



コルタ地域の子どもたちや人々の生活の向上には、チャイルド・スポンサーの皆さまのご支援が大きな力となっています。温かいご支援は、子どもたちの夢を育み、教師を育成し、未来のリーダーを生み出しています。

ホルヘ・イエペス
コルタ
地域開発プログラムマネージャー

ご支援によって、チャイルドや地域の人々に

500

500人の保護者が、子どもの権利を尊重した、体罰をしない子育て方法を学び、子どもたちを虐待から守れるようになりました。

550

1～3年生の子どもたち550人が識字プログラムに参加し、読み書きの能力が向上しました。

エクアドル ： 日本

出典：国連開発計画（UNDP）、国連児童基金（ユニセフ）、世界銀行　2022年 世界保健機関（WHO）　2024年

18歳未満の女子1,000人あたりの出生数		深刻な栄養不良の5歳未満児の割合		前期中等教育を修了した25歳以上の女性の割合	
63.2	2.9	22.7%	5%	54.1%	98.2%

チャイルド・スポンサーシップは、途上国の子どもの健やかな成長のために、子どもを取り巻く環境を改善する長期的な支援を行います。地域の状況に応じて水衛生、保健、栄養、教育、生計の改善に取り組んでいます。



「以前は、自分の未来に不安を感じていました。でも、起業のための研修に参加して新たなスキルを身につけ、適切に決断することや効果的なコミュニケーションをすることができるようになりました。今では、将来の目標を持てるようになりました」
ジャイムくん、16歳（右端）

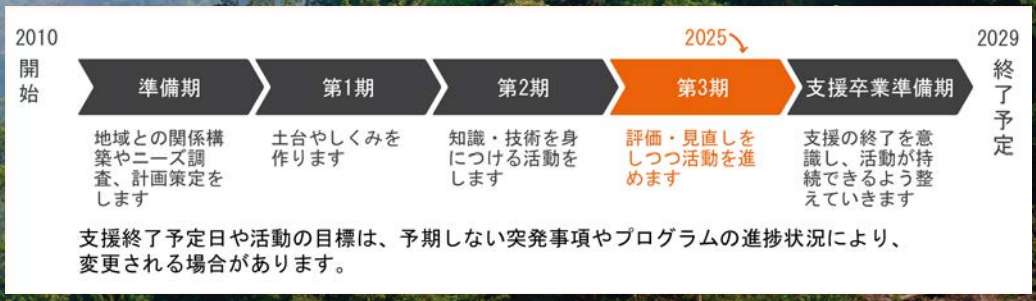
大きな変化がもたらされています

650

650人の子どもが、周囲の人への思いやりや、価値観の尊重などを学ぶ啓発活動に参加しました。自分が大切な存在であることを理解し、良好な人間関係を築くために必要なことなどを学びました。

96

96人の保護者が、子どもの健康、子どもの保護、早期教育に関する研修を修了しました。生まれたばかりの赤ちゃんを持つ保護者が、自分たちの子どもに最大限のケアができるようサポートしています。



「みんなで仲良く暮らせるようになりました」



虐待や暴力の多い地域で育ったノエミちゃん（12歳・前列中央）は、幼い頃から両親の愛情を求めていました。「お父さんとお母さんはよく口喧嘩をして、私はそのたびに悲しい気持ちになっていました。もっと優しく接してほしかったし、家族で一緒に話したり、遊んだりしたかったです」

その後ノエミちゃんの両親は、ワールド・ビジョンが実施する育児研修に参加しました。日々の子育ての中で、我が子に愛情を示し、尊重すること、そして敬意を持って接することなどを学んだのです。

「みんなで仲良く暮らせるようになりました！」と笑顔で話すノエミちゃん。「家族で過ごす時間が増えて、とてもうれしいです。ブレスレットなどの手工芸品を作るときも、優しく教えてくれるし、私が悲しんでいるときは、抱きしめて元気づけてくれます」



チャイルドの最新情報や写真・動画を見られる
「マイ チャイルド」および
登録情報の変更など、各種お手続きができる
「マイ ワールド・ビジョン」はこちらから

World Vision

ご支援により、子どもたちを取り巻く環境が改善されています

エクアドル　コルタ地域開発プログラム（ECU-196377）

2024年度（2023年10月1日～2024年9月30日）

会計報告

プログラム支援額	（単位：円）
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	56,846,035
前期からの繰越額	1,173,488
プログラム支援額合計	58,019,523

プログラム支出額	
子どもの発達プロジェクト	19,607,219
子どもの保護プロジェクト	16,995,267
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	21,894,524
プログラム支出額合計	58,497,010
次期繰越額	-477,487

活動内容

子どもの発達プロジェクト

- 子どもや青少年・若者の読解力の強化
- 青少年へのライフ・スキル教育
- 乳幼児の発達に関する保護者への研修

子どもの保護プロジェクト

- 子どもや女性の権利についての啓発活動
- 地域における子どもの保護の仕組みの強化
- 社会活動のための青少年や若者のネットワークの強化
- 体罰を使わない教育に関する保護者への研修

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- 手紙や成長報告を通したチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動

*ライフ・スキルとは、問題解決、対人関係、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術のこと。

お問い合わせ
特定非営利活動法人　ワールド・ビジョン・ジャパン
TEL：03-5334-5351
Eメール：dservice@worldvision.or.jp
ホームページ：www.worldvision.jp